

わかば

NALC豊中・池田 拠点「わかばの会」会報

改定 第6号 (通巻 第163号)

発行 平成23年3月

事務局 豊中市本町 5-1-1 教育センタービル5F

Tel&Fax 06-6852-4802

e-mail nalctim2007@yahoo.co.jp

URL <http://sky.geocities.jp/nalctim2007>

介護保険制度についてセミナーでの話から

3月5日、大阪市内のPLP会館で介護保険制度についてのセミナーが開かれました。今年は第5期の制度見直し(24年度実施)の時期にあたり、色々な問題が提起されてきております。私たちの身近な介護保険制度について、現状の問題点と見直し案について考えて見る必要があるのではないかと思います。

今回、講師として、ナルク高畑敬一会長、大阪大学堤修三教授、Oネット岡本祐三代表の3人を迎え、介護保険制度がどのような問題があるかについて説明がありました。

介護保険の総費用は介護保険が運用開始の平成12年は3.6兆円、平成21年は7.9兆円と2倍以上、これが団塊の世代の65歳以上になる平成37年には19兆円～23兆円と大幅に増加する見込みです。

一方介護保険料1期(平成12年～14年度)は2,911円、第2期(平成15年～17年)は3,293円、第3期(平成15年～17年度)は4,090円、第4期は(平成21年～23年度)は4,160円と増加、今回の第5期は(平成24年～平成26年度)は5,000円程度と想定されます。しかし保険料は最大5,000円までが限界ではないかと言われています。

上記問題から負担と給付のバランスが今の大きな問題点です。この対策として

- ① 介護保険料を現40歳から20歳からに引き下げる。
- ② 介護度を段階7(要支援1, 2 要介護1, 2, 3, 4, 5)から段階3(要介護3, 4, 5)とし、要支援1, 2と、要介護1, 2の軽度は介護保険から外し、この分野は地域で支えるNOPやボランティア団体等に補助金を出す等で支出を削減する。
- ③ 地域包括支援センターの役割の強化 日常生活圏域内において医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが一体的に機能されなければなりません。(具体的には24時間対応の定期巡回、随時訪問の介護と看護が一体化されたサービスの導入、小規模多機能型生活介護と訪問看護などの複合型サービスの導入、生活援助のあり方の見直し、配食や見守りを含む総合的生活支援サービスの地域支援事業への導入等があります。)
- ④ その他ケアマネジャーの問題、認知症対策の充実と市民後見人の養成・援助等。

NPO団体ナルクとしては、今後、②を地域での取り組みの一環として行うよう、準備をしておく必要があるのではないのでしょうか。

(木村良三)

**SOS (緊急サービスの依頼) は下記へ
連絡先が次のように替わりました 090-8795-2887 (青木)まで**

